

令和 4 年度
(2022 年度)
事業報告書

社会福祉法人わらしな福社会

目 次

	＜ページ＞
■ <総論>令和 4 年度を振り返って.....	1～2
■ 職種別職員数	3
■ 主な行事实績	4
■ 事業及び区分別報告	
1. 法人	
✚ 役員会実績	5～6
2. 特養/ショートステイ	
✚ 「ケア」についての振り返り.....	7
✚ 「医務」からの振り返り	7
✚ 「食」についての振り返り.....	8
✚ 年間行事实績	9
✚ 入所者に関する統計等	
① 日課	10
② 年間行事食メニュー	//
③ 入/退所数	11
④ 入/退所者経路	//
⑤ 入所前の生活	//
⑥ 代理人区分	//
⑦ 疾病及び痴呆	12
⑧ 入院の状況	//
⑨ 受診の状況	13
⑩ 平均介護度	14
⑪ 食事形態	//
✚ 事業実績	15
3. りんどうデイサービスセンター	
✚ 概略	16～18
✚ 事業実績	19
4. 居宅介護支援事業所 コスモス	
✚ 概略	20
5. 居宅介護支援事業所 りんどう	
✚ 概略	21
6. 居宅介護支援事業所 りんどう 羽鳥	
✚ 概略	21
7. ワークセンターりんどう	
✚ 就労支援A型	22～25

✚	就労支援B型	26～29
8.	会議・委員会	
✚	概略及び開催状況	30
9.	職員研修（研修管理室）	
✚	概略及び実施状況	31～35
10.	防災	
✚	概略	36
11.	地域との取り組み	
✚	概略	36
12.	広報・採用活動	
✚	概略	37～38

端的に「コロナ感染と台風被害に見舞われたことに加え、物価高騰の煽りを受けた年」と言える年度でした。

コロナ感染は、第 7 波（7 月 9 日～9 月 13 日）利用者 42 名・職員 37 名+ワーク 5 名、第 8 波（11 月 15 日～3 月 19 日）利用者 14 名・職員 18 名が感染しました。

台風 15 号（9 月 23 日夜～24 日未明）においては、水見色街道一部が半壊し概ね 2 週間に渡り車両通行止め（10 月 7 日 開通）。また 26 日から 28 日に掛け水見色地区全域が停電の惨事でした。

コロナにおいては、利用者様が罹患されたことは大変遺憾であります。しかし、辛うじてこの感染者数で収まったことと、重篤者が出なかったことは救いです。

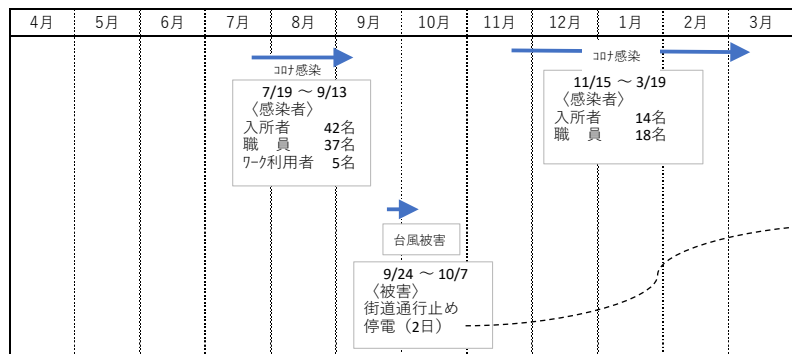
台風被災においては、台風による街道の半壊による通行止めは、平成 29 年 10 月の経験が活かされ迅速に対応できたものの、停電により照明・入浴等において利用者様へ不便をお掛けしましたが、その他においては生活を維持（事業継続）することが出来ました。

この困難を、全職員一丸となって乗り越えた！ と自負できると思っております。

正に「感染症」「自然災害」と、この両 BCP 計画の実践が試され、結果として多くを学び、経験値を上げました。このことを当計画のブラッシュアップに繋げたいと考えます。

又、4 年度の指針でキーワードに「人材育成」を掲げました。前述の難事に直面し、乗り越えることで、全職員の各々に課せられた使命感・職責への自覚と実践力が増し、成長につながったと思います。

コロナ感染・台風そして物価高騰の煽りを受け、主には、職員時間外手当・保健衛生費・光熱費が増大し、コロナ関係においては「サービス提供体制確保事業費補助金」、物価高騰においては「物価高騰支援金」の補助金を受けながらも、決算は、厳しい結果となりました。



各事業運営については…

「特養」は、年度後半に入院者が増え目標を僅かに下回り、「ショート」は、コロナの影響もあり目標には達しませんでした。「デイサービス」は、土曜日営業を始めたものの、コロナ感染と台風による道路通行止めを受け、その間、利用を見合わせる等があり稼働に影響が及び、目標を大きく下回りました。

- ・特養：97.28% (97.5%)、
- ・ショート：87.61% (90%) ※ () は目標数値
- ・デイ：12.3 人/日 (16.1 人/日)

「居宅支援事業所」においては、ケアマネ 1 人当たりが担当できる件数のほぼ MAX に近い件数を抱えてのサービス提供を行いました。

- ・居宅コスモス：85.7 件 (昨年度 89.0 件)、
- ・居宅りんどう：78.4 件 (昨年度 80.1 件)、
- ・居宅りんどう羽鳥：60.0 件 (昨年度 61.0 件) (年度途中でケアマネの入替あり) ※ 月間平均登録件数

「障がい者就労支援」においては、昨年度を上回る利用者登録数があり、稼働することができました。

・ワーカー A：13 人（昨年度 11.9 人） ・ワーカー B：13.1 人（昨年度 11.5 人） ※ 月間平均登録件数
又、B 型利用者への工賃は、1 人当たり平均 28,628 円／月（令和 3 年 全国平均 16,507 円／月）が達成できている。

特養・ショート・デイ ともに年度目標を達成できなかったことは、特養・ショートにおいては、コロナ感染の影響を受け、入所調整に時間が要したこと。又、長期における平均入院数は、3.7 人／日（昨年度 3.5 人／日）であったことも要因に挙げられる。

デイにおいては、特養でのコロナ感染や台風による道路通行止めにより利用を控えるご利用者様があったことが挙げられる。

令和 5 年度においては、コロナの影響も薄くなることを念じる一方、「りんどう」として、入院者数を減らす為に日々の看介護連携の強化、ショート・デイにおいては、ご利用者様に満足して頂けるサービス提供の向上を図っていきたいと考える。

広報活動においては、引き続き「りんどう」の様子をホームページや Facebook、Instagram にて積極的に対外的発信し、その結果として、利用に関する件や求職者からのお問い合わせを多く受け、「りんどう」を広く知って頂いていると感じています。

「コロナ感染」、「台風での被災」、「物価高騰」と特筆することの多い年度でした。この難事を乗り越える為に、「りんどう」全体として費やした労力、発揮した知恵や行動力、協同・協働する力は、各々職員に対しても、法人全体に対しても、成長を促したと考えます。

「りんどう」の今後に活かし、更なる発展・成長を図っていきたい所存です。

職種別職員数（短時間労働および派遣を含む）

令和 4 年 3 月 31 日現在 (単位：人)

職名	人数	正職員		パート(非常勤)		派遣		備考	割合
		男	女	男	女	男	女		
施設長	1	1							6.2%
副施設長	1		1						
事務長	1	1							
事務員	7	4	0	2	1				
介護支援専門員(施設)	3	2		兼務(1)				※内 兼務(1)	1.9%
// (居宅)	5	3	2						3.1%
生活相談員	5	4	1					内 デイサービス(1)	3.1%
嘱託医師	1			1					
看護師	2					2			1.2%
看護職員	7	1	3			3		内 デイサービス(1)	4.3%
機能訓練指導員	3	2		1					1.9%
介護長	2	1	1						1.2%
介護職員	85	20	38	4	23			内 デイサービス(正1、パ3) 内 技能実習生(4) 特定技能(3) 介護福祉士資格取得63%	52.8%
介護補助員	3				3				1.9%
管理栄養士	2		1		1				1.2%
調理員	12	6	3	1	2				7.5%
営繕	1	1							0.6%
宿直	2			2				※内 兼務(1)	1.2%
サービス管理責任者	1	1						※ワークセンター	3.7%
生活支援員	1				1			※ワークセンター	
職業指導員	4	2	2					※ワークセンター	
(就労支援A型契約者)	13			8	5			※ワークセンター	8.1%
計	161	49	52	19	41				

職員統計（正・パ、男・女 割合）

	男		女		小計(人)
	(人)	(%)	(人)	(%)	
正職員	49	30.4%	52	32.3%	101
パート	10	6.2%	36	22.4%	46
派遣		0.0%		0.0%	0
嘱託医	1				1
ワークA	8	5.0%	5	3.1%	13
計	68	42.2%	93	57.8%	161

職員統計（平均勤続年数、平均年齢）

	平均勤続年数(年)			平均年齢(歳)		
	男	女	総合	男	女	総合
正職員	10.7	12.0	11.4	47.1	46.1	46.6
パート	11.6	10.0	10.8	64.1	58.5	61.3
総合	11.2	11.0	11.1	55.6	52.3	54.0

※ ワークA支援対象者は含まない

令和 5 年 3 月 31 日現在の統計

令和 5 年 3 月 31 日現在の統計

正職員・パート 年代別分布割合

区分	単位	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	小計	
		(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)		
男	正職	(人)	2	12	13	18	4	0	49
		(%)	1.4%	8.2%	8.8%	12.2%	2.7%	0.0%	33.3%
	パート	(人)	1	0	0	0	6	3	10
		(%)	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	4.1%	2.0%	6.8%
	総合	(人)	3	12	13	18	10	3	59
		(%)	2.1%	8.2%	8.8%	12.2%	6.8%	2.0%	40.1%
女	正職	(人)	10	9	7	16	9	1	52
		(%)	6.8%	6.1%	4.8%	10.9%	6.1%	0.7%	35.4%
	パート	(人)	0	3	8	4	12	9	36
		(%)	0.0%	2.0%	5.4%	2.7%	8.2%	6.1%	24.5%
	総合	(人)	10	12	15	20	21	10	88
		(%)	6.8%	8.2%	10.2%	13.6%	14.3%	6.8%	59.9%
総合	(人)	13	24	28	38	31	13	147	
	(%)	8.9%	16.3%	19.0%	25.9%	21.1%	8.8%	100.0%	

令和 5 年 3 月 31 日現在の統計（ワークA支援対象者、派遣、嘱託医を除く）

■ 主な出来事 実績（法人・施設）

月	適 応	備 考
4	28日 職員健康診断（全員）	
5	21日 監事監査 28日 第1回 理事会	令和3年度事業報告及び決算
6	18日 定時評議員会	
7		
8		
9	5日 D棟エアコン リニューアル工事着工	～11月20日
10	31日 職員健康診断（深夜業務を伴う職員）	
11	9日 職員健康診断（直接処遇者のみ） 10日 苦情・要望について第三者委員への報告会 22日・24日 入所者健康診断 23日 防災訓練	
12	6日 静岡市 指導監査・運営監査 13日 監事監査	
1	14日 第2回 理事会 28日 第1回 臨時評議員会	第1回 補正予算
2		
3	21日 第3回 理事会 29日 第2回 臨時評議員会	第2回 補正予算 令和5年度 事業計画・収支予算

■ 事業別（区分別）報告

1. 法人 役員会開催実績

・ 決算 監事監査の開催

日時 : 令和 4 年 5 月 21 日 (土) 午前 10 : 00
場所 : 社会福祉法人 わらしな福祉会 りんどう介護者教育室

・ 第 1 回 理事会の開催 (理事 4 名、監事 2 名)

日時 : 令和 4 年 5 月 28 日 (土) 午前 10 : 00
場所 : 社会福祉法人 わらしな福祉会 りんどう介護者教育室
内容 : ① 令和 3 年度事業報告、及び決算
② 給与規程の一部改正
③ 育児・介護休業に関する規程の一部改正
④ 定時評議員会の開催
(報告事項) 理事長・業務執行理事の職務執行状況

・ 定時評議員会の開催 (評議員 6 名、理事 3 名、監事 1 名)

日時 : 令和 4 年 6 月 18 日 (土) 午前 10 : 00
場所 : 社会福祉法人 わらしな福祉会 りんどう介護者教育室
内容 : ① 令和 3 年度 事業報告、及び決算の承認

・ 上半期 監事監査

日時 : 令和 4 年 12 月 13 日 (土) 午前 10 : 00
場所 : 社会福祉法人 わらしな福祉会 りんどう介護者教育室

・ 第 2 回 理事会の開催 (理事 5 名、監事 2 名)

日時 : 令和 5 年 1 月 14 日 (土)
場所 : 社会福祉法人 わらしな福祉会 りんどう介護者教育室
内容 : ① 令和 4 年度 第 1 回補正予算
② 第 1 回臨時評議員会開催
(報告事項) 理事長・業務執行理事の職務執行状況

・ 第 1 回 臨時 評議員会の開催 (評議員 7 名、理事 3 名、監事 1 名)

日時 : 令和 5 年 1 月 28 日 (土)
場所 : 社会福祉法人 わらしな福祉会 りんどう介護者教育室
内容 : ① 令和 4 年度 第 1 回補正予算

・ **第3回 理事会の開催**（理事5名、監事1名）

日時：令和5年3月21日（火）午前10:00

場所：社会福祉法人 わらしな福祉会 りんどう介護者教育室

内容：① 令和4年度 第2回補正予算

② 令和5年度 事業計画及び収支予算書

③ 就業規則の一部改正

④ 経理規程の一部改正

⑤ 物品購入、工事発注、委託業務発注に係る内規の一部改正

⑥ 第2回 臨時評議員会の開催

（報告事項）理事長・業務執行理事の職務執行状況

・ **第2回 臨時評議員会の開催**（評議員7名、理事3名、監事1名）

日時：令和5年3月29日（水）午前10:00

場所：社会福祉法人 わらしな福祉会 りんどう介護者教育室

内容：① 令和4年度 第2回 補正予算

② 令和5年度 事業計画及び収支予算書

2. 特養／ショートステイ りんどう

———— 「ケア」について の振返り ————

令和 4 年度「お一人お一人の利用者様としっかりと関わりを持つ事」、「業務優先にならない日々の介護実践」を職員間において共有認識しケアにあたるようにしました。

ほんの少しの言葉が足りなかった場合や、発信する側と受け取る側の解釈が異なっていた時など、コミュニケーションで大きな誤解を生じてしまう事が時にはあります。

高齢からくる視覚や聴覚、言語能力が低下している利用者様への伝達、及び認知にて、利用者様と介護職員間にて、意思疎通が難しいことは然るべきです。

自分の意志や感情などをうまく伝える事が出来ない方が抱えている痛みや苦しみから解放されるためには、介護職員が日頃の関わりで言葉に耳を傾ける姿勢を示し、その利用者様が心を開いていただける関係性を築ことが務めであり、継続して行っていきたいです。

日常の介護業務上の課題に掲げる「相手の尊厳を大切にされた言葉遣い」を心掛け、やさしさを感じる介護を実施していきたいところではありますが、業務優先にしてしまう介護職員も存在します。そういった職員は、業務に対する姿勢が自ら正しいと思っている職員であり、その姿勢に対して、早々に指導し修正を図らなければなりません。

施設の理念を常に職員間で確認し、「利用者優先にした介護」を限りなく進めたいと思います。

令和 4 年度のコロナ感染禍と台風 15 号の災害を実体験し、多くを学び、その学びから向上する意識が高められました。経験した困難への対応を記憶に残し、ブラッシュアップした BCP 計画策定に望みたいと考えます。

———— 「医務」からの振返り ————

- ① 利用者様の健康管理について、医務職員の担当がお一人お一人の状態を良く把握し、又医務職員間で情報が共有でき、対応できたと考える。
- ② 感染防止において、新型コロナウイルスの施設感染の経験から、課題を整理し、今後の対応について強化を図っていきたい。
- ③ 入所者が重度化する中、吸引行為が増えているが、医務職員間の協働で対応できた。
- ④ 新規入所者に対する面接情報について医務観点から確認しておきたい情報について、積極的に入所し、看介連携に活かしている。
- ⑤ 医務職員の協働、チーム力向上は、次年度更に強化していきたい。

■ 「普段の生活を彩る食事の提供」

- ・ 四季に合った食材を使用し、盛り付けも“丁寧”“綺麗”“強調”の意識づけ継続。
- ・ 今年度は緊急対応等で大きな行事が中止となることが多く、あまり珍しいものの提供はできなかったが、クリスマスのケーキ寿司やひな祭りのバイキングでのエビチリは初めての提供となった。
- ・ 前年度課題の残ったハンバーガーやサンドウィッチを具材変更・改善し再度提供。
- ・ ワークセンターで収穫したじゃが芋や紫芋を献立内に取り入れて利用者への提供実施。
- ・ 奇しくも台風災害時に初試みののり弁提供が重なり、本物に近づいた状態での提供となった。

今後も“攻めの姿勢”継続していきます。

■ 低栄養の改善

- ・ 毎月測定する体重の数値をもとに、多職種と利用者個人に対する対応策を練ることができた。

また体調不良時や夏バテなどでの食欲不振みられる際は、本人が何なら食べられるかを過去の嗜好や絶対に残さないもの、“これだけは自分から食べる”ものをできる限り提供行った。

最後まで「口から食べる」ことが出来るよう、嚥下食や流動食も種類を揃えて支援できる体制を今後も整えていく。

これからも低栄養の方、褥瘡が改善⇔悪化と繰り返している方への栄養状態の把握や適した流動食選定などを早期対応できるよう、周囲からの情報収集に努めていく。

■ 食中毒の防止と衛生管理の徹底

- ・ 異物混入防止のため、器具や設備の不良個所の早期修理依頼実施。
- ・ 一斉清掃の日を作り、重点的に行う掃除場所を決めて取り掛かった。
だが、実施回数にムラがあるため、もっと定期的に効率よく行えるよう調整していく。
配膳車も、汚れを指摘されることがあったため、こまめな清掃を行っていく。
- ・ 塩素系とアルコール系の消毒剤を使用しての器具の消毒・手指のこまめな洗浄と消毒・各々での健康管理を徹底し、感染症を“持ち込まない”よう努めた。

■ 非常時の対応

- ・ コロナ対応や水不足による断水、台風災害等により、普段と全く異なる食事提供体制となった。

献立内容を変更し、食器も使い捨て容器を活用した。

使い捨て容器保管場所もほぼ1ヶ所に集約。

- ・ 非常時のマニュアル作成実施。

今後も非常時にスムーズな食事提供が出来るよう手筈を整えていく。

令和4年度 行事实績

※ コロナ禍により、全体での実施を避け、各フロアごとの実施

月	行事名
4月	桜の花見:: 施設駐車場にて花見をする。
5月	端午の節句(菖蒲の湯):: 菖蒲をお風呂に入れ利用者に入浴を楽しんで頂く。
	母の日:: 女性利用者へメッセージカードを作成し、職員がプレゼントし、花を飾る。 新茶祭り:: 新茶と和菓子で季節を感じて頂く。
6月	父の日:: お花のプレゼント、お菓子作りなどを楽しむ
7月	七夕祭り:: 笹に飾り付けを行い、願い事を1人1人飾る。
	参議院選挙 不在者投票
9月	敬老会:: 長寿の表彰と、職員によるパフォーマンス。
10月	入所者健康診断
11月	施設防災訓練:: 避難通路手順確認・応急手当(三角巾使用法研修)実施
12月	クリスマス会
1月	餅つき:: 正月気分を味わって頂く。
2月	節分:: 職員が鬼の格好をして利用者に豆を投げさせていただきました
3月	雛祭り:: 中華バイキングを楽しむ

4月：桜の花見



5月：新茶をたのしみ会



9月：敬老会



12月：クリスマス会



1月：新年の餅つき



2月：節分



3月：ひなまつり



✚ 入所者に関する統計等

① 日課

各々の生活スタイルにあった（24時間シート）にて実施

② 年間行事食メニュー

	行 事	献 立
4月(3月)	桜の花見	ドリンクバー【お茶・甘酒・クリームソーダ・コーヒー牛乳等々】 袋菓子
5月	端午の節句	ちまき / 和菓子(鯉のぼり)
	母の日	鮭いくら丼 / プリンアラモード
	新茶祭り	茶飯 茶そば 桜えびかき揚げ 抹茶ゼリー / 新茶 抹茶 和菓子
6月	父の日	オムハヤシライス / だらやき
7月	七夕	そうめん 天ぷら盛合せ(夏) / 和菓子(七夕)
	海の日	冷やし中華 / 和菓子(海開き)
	土用の丑	うなぎの蒲焼
8月	夏祭り	うどん(温・冷) ドリンクバー 人形焼きのアイス添え お好み焼き カップクレープ →予定していたが、中止
	山の日	鶏五目おこわ / 富士山ケーキ
9月	海鮮バーベキュー	中止
	敬老の日	赤飯 金目鯛の煮付 紅白なます / 紅白まんじゅう
	お彼岸	おはぎ
	お月見	月見きんぴら / 十五夜まんじゅう
11月	味覚祭	中止
	七五三	鉄火丼 / エクレア
12月	冬至	かぼちゃのそぼろ物 / かぼちゃのパパロア
	クリスマス・イヴ	ケーキ寿司 / クリスマスケーキ / ビーフシチュー 野菜のテリーヌ
	クリスマス	ローストチキン / 和菓子(クリスマス) / 鱈の豆乳鍋風煮
	大晦日	すき焼き風煮 / 年越しそば(天ぷら盛合せ)
1月	正月	赤飯 おせち料理 雑煮 寿司 甘酒 etc
	新年の餅つき	餡生だんご 安倍川餅(あんこ・きなこ) 磯辺餅 からみ餅
	七草粥	七草粥
	成人の日	助六寿司 / 練り切り(寿)
2月	節分	恵方巻き(太巻き) 節分豆 / 赤鬼まんじゅう / 福豆汁
	バレンタイン	オムライス(ハート) ゼリーポンチ(ハート) / チョコレートケーキ
3月	ひな祭り	ちらし寿司 / 苺ヨーグルトタルト ひな祭り中華バイキング・・・肉・あんまん、餃子、エビチリ、麻婆豆腐、杏仁豆腐、マンゴープリン
	ホワイトデー	春野菜のスパゲティ / 苺パパロア
	お彼岸	ぼたもち

※随時、棟ごと誕生日行事(ケーキ)、バイキング実施

③ 月別 入/退所数 (単位:人) ※令和5年3月31日現在

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
月間入居者数		3	2	8	2	5	5	3	2	3	5	4	5	47
月間退去者数		5	2	5	6	4	4	2	1	6	6	3	4	48
入居	男	1	1	3	0	3	1	1	1	1	2	1	3	18
	女	2	1	5	2	3	4	2	1	2	3	3	2	30
退去	男	1	2	1	2	0	2	0	1	1	4	2	2	18
	女	3	1	3	5	4	2	2	0	5	2	1	2	30

④ 入/退所者経路 (単位:人) ※令和5年3月31日現在

区分	入 居				退 去				
	自 宅	他 施 設	病 院 等	計	死 亡	自 宅	他 施 設	病 院 等	計
男	12	2	2	16	14	0	0	4	18
女	19	5	7	31	25	0	0	5	30
計	31	7	9	47	39	0	0	9	48

⑤ 入所前の生活 (単位:人) ※令和5年3月31日現在

区分	家 族				施設・病院等							合 計
	家族と同居	老人夫婦	一人暮らし	計	養護老人ホーム	軽費老人ホーム	老人保健施設	一般病院	老人病院	その他の施設	計	
男	18	10	8	36	0	0	6	9	0	6	21	57
女	50	10	17	77	3	0	11	19	3	9	45	122
計	68	20	25	113	3	0	17	28	3	15	66	179

⑥ 代理人区分 (単位:人) ※令和5年3月31日現在

区分	配偶者	子	子の配偶者	兄弟姉妹	孫	甥・姪	その他	計
男	7	27	2	11	0	2	6	55
女	5	89	14	6	0	1	9	124
計	12	116	16	17	0	3	15	179

⑦ 疾病及び痴呆の状況

単位:(人)

区分	男	女	計
脳卒中後遺症	21	38	59
老年及び血管性痴呆	26	80	106
アルツハイマー	12	43	55
高血圧・脳動脈硬化症	26	68	94
精神疾患	4	18	22
眼疾患	2	1	3
難聴	2	5	7
言語障害	5	13	18
パーキンソン病	4	5	9
心臓疾患	10	24	34
閉塞性動脈硬化	1	1	2
呼吸器系	2	7	9
消化器系	5	4	9
ヘルニア	0	0	0
糖尿病	11	17	28
てんかん	1	1	2
耳鼻科系疾患	0	0	0
歯科系疾患	0	0	0
筋・骨格系	4	26	30
リュウマチ	0	7	7
皮膚疾患	1	0	1
腎・泌尿器・生殖系	18	20	38
褥瘡	1	0	1
血液疾患(貧血含む)	3	6	9
MRSA	0	0	0
疥癬	0	0	0
痔	0	0	0
計	159	384	543

※重複あり

⑧ 入院の状況

※ 当月に入院開始した人数

単位:(人)

(病名) \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
肺炎	1	1		3	3	2	1	2	3	2	1	2	21
心不全	1	1	1	1		1		1			1		7
脳梗塞													0
脳出血										1			1
神経内科													0
泌尿器			1		2	1		1	4			1	10
眼科							1						1
皮膚科										1	1		2
消化器疾病			1		1	1		1	2			1	7
骨折	2				1		1					1	5
計	4	2	3	4	7	5	3	5	9	4	3	5	54

1日平均入院者数	4.3	1.8	2.9	4.5	3.4	3.3	2.4	2.9	5.5	6.8	3.1	3.6	3.7
----------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

⑨ 受診の状況

単位:(人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
受診料													
一般内科	19	12	17	14	14	10	13	17	15	24	21	18	194
循環器内科		2	1	3	3	1		2	2			1	15
リウマチ科			2			2	1	5		1	2		13
呼吸器内科	2			1	1			2	2	1	1	4	14
神経内科	1	3		1	1		2	1				1	10
外科	1	2	1	1	2	2	2	1	1	2		1	16
整形外科	11	15	13	9	13	20	11	15	20	16	13	19	175
脳神経外科	1	6	5	1	5	1	5	1	1	4	4	3	37
消化器科	1	3					1	2		1	2	1	11
精神科	5	2	7	2	3	7	6	9	7	4	3	5	60
眼科	2	1	3	2		4	4	2	2	2	2	2	26
口腔外科													0
皮膚科	12	16	18	10	9	11	13	6	9	10	9	19	142
耳鼻咽喉科		1		1		4	1						7
泌尿器科	3	2	3	2	2	2	4	3	4	5	4	2	36
婦人科	1	1						1	2				5
歯科(往診)	63	63	69	34	17	36	35	63	69	42	62	74	627
計	122	129	139	81	70	100	98	130	134	112	123	150	1388

⑩ 平均介護度

長期入所者 平均介護度

(月)	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
男性	3.7	3.7	3.7	3.7	3.8	3.8	3.8	3.8	3.9	3.9	3.9	3.9	3.8
女性	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.1	4.1	4.1	4.2	4.1	4.1	4.1	4.2
合同	3.93	3.94	3.94	3.98	4.00	4.02	4.01	4.02	4.06	4.07	4.10	4.06	4.01

⑪ 食事形態

※ 令和5年3月31日 ショートステイ利用者を含む
入院者は含まない

主 食	常 食				軟 飯		全 粥				重湯	パン食		流動食		プリン食 (ミキサー)	経管 栄養	合計
	副 食	常菜	大きざみ	小きざみ	ミキサー	大きざみ	小きざみ	常菜	大きざみ	小きざみ		ミキサー	ミキサー	大きざみ	小きざみ			
人 数 (人)	31	15	1	0	17	12	1	4	47	22	3	1	0	0	3	17	13	187
割 合	16.6%	8.0%	0.5%	0.0%	9.1%	6.4%	0.5%	2.1%	25.1%	11.8%	1.6%	0.5%	0.0%	0.0%	1.6%	9.1%	7.0%	

令和4年度 長期入所 実績

目標稼働率：97.5%

区分	令和4年												令和5年			(年度計)
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
要介護1 (人日)	30	31	30	31	31	31	0	0	0	0	0	0	0	0	153	
要介護2 (人日)	150	155	150	93	93	150	120	153	155	186	112	124			1,641	
要介護3 (人日)	1,351	1,444	1,365	1,364	1,381	1,356	1,341	1,147	1,025	1,057	1,060	1,231			15,122	
要介護4 (人日)	1,775	1,775	1,729	1,891	2,067	2,039	2,213	2,228	2,371	2,331	2,186	2,359			24,964	
要介護5 (人日)	1,961	2,092	2,015	2,012	1,858	1,740	1,787	1,784	1,798	1,756	1,555	1,668			22,026	
小計 (人日)	5,267	5,497	5,289	5,391	5,430	5,255	5,494	5,309	5,349	5,330	4,913	5,382			63,906	
稼働率 (%)	97.54%	98.51%	97.94%	96.61%	97.31%	97.31%	98.46%	98.31%	95.86%	95.52%	97.48%	96.45%			97.28%	

年度における平均介護度 4.01

令和4年度 ショート 実績

目標稼働率：90.0%

区分	令和4年												令和5年			(年度計)
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
要支援1 (人日)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
要支援2 (人日)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
要介護1 (人日)	46	62	50	49	51	51	26	47	75	18	25	27			527	
要介護2 (人日)	86	87	102	105	93	92	95	86	92	73	83	83			1,077	
要介護3 (人日)	346	310	214	234	217	221	254	275	248	287	283	276			3,165	
要介護4 (人日)	50	109	119	167	130	123	110	78	106	98	64	32			1,186	
要介護5 (人日)	29	29	49	29	32	60	67	50	34	26	0	0			405	
小計 (人日)	557	597	534	584	523	547	552	536	555	502	455	418			6,360	
稼働率 (%)	92.83%	96.29%	89.00%	94.52%	84.35%	91.50%	89.03%	89.33%	89.68%	80.97%	81.25%	72.58%			87.61%	

年度内における平均介護度 2.98

3. りんどう デイサービスセンター

■ 概略

[1日平均の利用者]

今年度実績は12.3人です。(昨年度16.1人) ※ 定員25名

[介護報酬収入]

令和4年度5月から土曜日営業を開始。

新型コロナ感染症流行に加え台風15号の被害に伴い、利用自粛・新規利用者の減少・縮小営業等がありました。

[地域交流]

新型コロナ感染症拡大に伴い、在宅の高齢者向けに「りんどうの集い」を行ってききましたが、前年度に続き中止しました。

[職員間の連携]

月1回(第4月曜日) デイ会議を開催。その中で職種ごとの立場で意見交換。「尊厳」「自立支援」「おかげさまでありがとう」「その人がその人らしく」と理念に沿った業務に取り組むことが継続できました。

[その他(成果)]

- ・ コロナ禍の中で、利用者様ご家族様にもご協力いただき、様々な感染予防対策を実施し、感染拡大を予防した。
- ・ デイ廊下に壁面飾りコーナーで利用者様が楽しめる場所になった。
- ・ りんどう全体で行う職員内部研修への参加ができた。
- ・ 好みを把握し、配慮と身体状況に合った食事の提供を継続した。
- ・ 記録をこれまで以上に詳細にし、分かりやすく保存した。
- ・ 送迎の際など、積極的に近隣の方へ挨拶し交流した。

■ 日課

8:00~9:30	送迎(体温チェック)	消毒・掃除・準備
9:30	到着	健康チェック 水分補給
10:00~	ケアボックス(座ったまま出来る有酸素運動)	
	関節可動域訓練・下肢筋力維持向上、手遊び	
	ゲーム(自然に身体を動かせ機能訓練を兼ねたもの)	
	入浴(爪切り、耳掃除、整容)・水分補給	
	個別機能訓練・運動器機能向上運動	
12:00~	嚥下体操・唾液腺マッサージ	
12:10~	昼食	
13:00~	口腔ケア	
13:30~	レクリエーション・機能訓練、屋内散歩(歩行訓練)	マッサージ
15:00~	おやつ	
15:30~	健康体操	
15:45~	送迎 記録	
	翌日の準備・消毒	

■ サービス提供（介護）における項目ごとの実績

<サービス提供の概念>

短期目標期間に合わせたカンファレンス・居宅サービス計画に沿った介護計画の作成実施。

<環境づくり>

新型コロナ感染症感染予防－食事・水分摂取などマスクを外す場面で使用するテーブルの飛沫防止板の設置。玄関・デイホール内の消毒液設置。換気、手を触れる部分の消毒
広いスペースを利用した落ち着く場所づくり・動線の確保・転倒防止に配慮・コミュニケーションがとりやすい環境はほぼ出来た。

利用者が作った作品や季節感のある作品を展示した。

<介護>

必要に応じ、本人家族の意向を踏まえてカンファレンスを実施し利用者ごとに必要とされるサービスを考慮し計画を立て提供できた。利用者の ADL の変化に伴い、歩行補助具や食事形態などの助言を行った。

<食事、栄養>

感染予防の為、食事中的会話は慎まなければならなかったが、大変和やかに召し上がって頂けた。利用者ごとの嗜好、形態などの配慮もできた。

自助具を活用した。水分摂取についても、脱水予防の為に日頃から水分を摂りにくい利用者については特に注意して観察し水分摂取して頂いた。

<レクリエーション>

活動的なプログラムが増え、利用者が自然に身体を動かし機能訓練につながった。利用者の意見を取り入れ、積極的に参加できるように配慮した。

<機能訓練>

個別に計画を立て、自然な流れの中で楽しみながら訓練が出来た。

歩行補助具を活用することで、歩行に消極的だった利用者も積極的に歩行するようになった。

<口腔ケア>

口腔ケアの際は特に新型コロナ感染症のリスクが上がる為、職員は防護用メガネ等使用し、利用者様にも間隔をあけて待っていただくよう協力して頂いた。

介助からセルフケアに移行出来そうな利用者には見守りながら自分で行って頂き不十分な所だけ介助した。

<入浴>

本人、家族の希望に配慮したサービスができた。

入浴順序について、特定の人がいつも一番にならないように工夫した。入浴拒否者について、原因や傾向など記録を残し検証。無理強いせず入浴して頂けるよう工夫した。

✚ 次年度への課題

- ・ 新型コロナ感染症感染予防
- ・ 利用者の増幅
- ・ 職員の専門職としての意識づけ(デイ勉強会・研修への積極的な参加)
- ・ 利用者の尊厳・自立支援に向けての取り組み
- ・ 職員間の連携、共通認識で業務に取り組む。
- ・ 業務内容の整理。
- ・ 支援、介護が一方的になっていないかを利用者の立場に立って、自己点検・相互点検を行い改善のための努力をする。
- ・ 利用者が、「楽しかった!」「また来るよ!」と帰り際に言って頂けるような、充実したサービス内容の提供を進化させていく。
- ・ 利用者が気を悪くされることの発端は、職員の接遇にあり、それがクレームとなります(今までのクレームから)。気を悪くされない気配り・接遇を各々職員が、常に気に留め行動することを徹底させる。

上記に掲げた課題解決が、より良きサービス提供につながり、利用者様に楽しく利用して頂けるものと心得ます。楽しく安心して過ごして頂ける「デイサービス」の評判が広がるよう精進して行きたいと、この年度を振り返り反省をするところであり、次年度に繋げたい、と考えます。

■ 実績

	4		5		6		7		8		9		10		11		12		1		2		3		合計			
	利用 人日	実人数	利用 人日	実人数	利用 人日	実人数	利用 人日	実人数	利用 人日	実人数	利用 人日	実人数	利用 人日	実人数	利用 人日	実人数	利用 人日	実人数	利用 人日	実人数	利用 人日	実人数	利用 人日	実人数	利用 人日	実人数	利用 人日	実人数
事業対象者	男						3	1	1	1	4	1	2	1	4	1	7	1	6	1	5	1	3	1			35	9
	女	1	4	1	3	1	4	1	6	1	2	1	3	1	5	1	4	1	4	1	3	1	1	1			40	12
	小計	1	4	1	3	1	7	2	7	2	7	2	5	2	9	2	11	2	10	2	8	2	4	2			75	21
要支援1	男												3	1	4	1	5	1									12	3
	女	13	2	13	2	14	2	10	3	16	2	13	2	11	2	15	2	17	2	8	2	13	2	23	3	166	26	
	小計	13	2	13	2	14	2	10	3	16	2	13	2	14	3	19	3	22	3	8	2	13	2	23	3	178	29	
要支援2	男	4	1	4	1	5	1	3	1	3	1	4	1	3	1	4	1	5	1	3	1	4	1	5	1	47	12	
	女	69	10	69	10	78	10	70	10	63	9	43	7	39	6	46	6	47	6	48	6	35	5	37	5	644	90	
	小計	73	11	73	11	83	11	73	11	66	10	47	8	42	7	50	7	52	7	51	7	39	6	42	6	691	102	
介護度1	男	11	1	11	1	11	1	11	1	12	1	8	1	8	1	31	2	38	3	42	3	39	3	42	3	264	21	
	女	96	9	96	9	79	7	82	9	56	8	77	9	97	11	93	11	84	10	74	9	103	13	121	12	1058	117	
	小計	107	10	107	10	90	8	93	10	68	9	85	10	105	12	124	13	122	13	116	12	142	16	163	15	1322	138	
介護度2	男																									0	0	
	女	83	9	83	9	84	9	78	8	62	9	46	8	57	7	76	8	77	8	68	8	76	9	111	10	901	102	
	小計	83	9	83	9	84	9	78	8	62	9	46	8	57	7	76	8	77	8	68	9	76	9	111	10	901	103	
介護度3	男	16	2	16	2	12	1	11	1	13	1	9	1	11	1	12	1	12	1	1	1	12	1	14	1	139	14	
	女	22	1	22	1	32	3	32	2	24	2	21	1	24	1	22	1	27	2	25	2	34	2	37	3	322	21	
	小計	38	3	38	3	44	4	43	3	37	3	30	2	35	2	34	2	39	3	26	3	46	3	51	4	461	35	
介護度4	男																									0	0	
	女	26	2	26	2	25	2	15	2	16	2	16	2	18	2	19	2	22	2	17	2	8	1	9	1	217	22	
	小計	26	2	26	2	25	2	15	2	16	2	16	2	18	2	19	2	22	2	17	2	8	1	9	1	217	22	
介護度5	男																									0	0	
	女																									0	0	
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	341	38	344	38	343	36	319	39	272	37	243	34	276	35	331	37	345	38	286	37	332	39	403	41	3845	450		
①・・・実質稼働日数	26	26	26	26	26	26	26	26	27	27	26	26	26	26	26	26	27	27	26	26	24	24	27	27	313	313		
一日平均利用人数	13.1	13.2	13.2	13.2	13.2	13.2	12.3	12.3	10.1	10.1	9.3	10.6	10.6	12.7	12.7	12.8	12.8	11.0	11.0	13.8	13.8	14.9	14.9	12.3	12.3			
②・・・介護報酬収入	2,829,237	2,264,752	2,759,746	2,693,279	2,182,488	1,978,528	2,366,590	2,514,845	2,976,398	2,517,894	3,026,313	3,388,398	3,149,468	3,498,468	3,149,468	3,498,468	3,149,468	3,498,468	2,517,894	2,517,894	3,026,313	3,026,313	3,388,398	3,388,398	31,498,468	31,498,468		

目標：1 日平均利用者数 16.1 人/日

※ 収入額については、過誤申請等の調整がかかり最終的な額は決算書の数字となる。

居宅介護支援事業所

(目標)

利用さんが可能な限り在宅で有する能力に応じて自立した生活を営めるように適切な居宅介護サービス計画(ケアプラン)を作成し、居宅サービスの提供が確保されるように他の事業者、関係機関との連絡調整その他の便宜の提供をおこなう。

(支援目標への対応)

- ① 感染対策を意識し訪問。適切なプランの提案の実施。利用者への自立支援ケアマネジメントを公平・中立、適切に行うことに努める。
- ② zoom研修等を通じて情報収集、関係づくりを維持し事業所間の連携を行うことで、継続的に利用者獲得に繋がった。
- ③ 利用者への自立支援ケアマネジメントを公平・中立、適切に行うことに努めた。

4. 居宅介護支援事業所コスモス

〈認定調査〉

項目 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	小計
調査件数(件)	6	4	7	5	7	8	5	8	2	11	8	8	79
調査料収入(円)	33,000	22,000	38,500	27,500	38,500	44,000	27,500	44,000	11,000	60,500	44,000	44,000	434,500

* 認定調査委託費1件あたり 5,500円

〈予防給付〉

項目 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	小計
件数(件)	22	23	22	23	21	21	22	22	22	22	20	20	260
給付収入(円)	90,332	94,438	90,332	94,438	86,226	86,226	90,332	90,332	90,332	90,332	82,120	82,120	1,067,560

* 予防給付委託費1件あたり 4,106円

〈介護給付〉

項目 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	小計
件数(件)	63	64	61	62	60	68	68	71	67	65	68	62	779
給付収入(円)	797,517	810,176	772,199	784,858	759,540	860,812	860,812	898,789	848,153	822,835	860,812	784,858	9,861,361

* 居宅支援費 I ◎ 介護1・2(¥11,211) ◎ 介護3・4・5(¥14,567) 平均・・・ **¥12,659**

年間収入 ①+②+③ ¥11,363,421

※ 収入額については、過誤申請等の調整がかかり最終的な額は決算書の数字となる。

5. 居宅介護支援事業所りんどう

〈認定調査〉

項目 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	小計
調査件数(件)	9	7	7	6	4	4	6	5	6	5	8	6	73
調査料収入(円)	49,500	38,500	38,500	33,000	22,000	22,000	33,000	27,500	33,000	27,500	44,000	33,000	401,500

← ①

* 認定調査委託費1件あたり 5,500円

〈予防給付〉

項目 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	小計
件数(件)	18	17	17	16	16	17	18	19	16	14	13	13	194
給付収入(円)	73,908	69,802	69,802	65,696	65,696	69,802	73,908	78,014	65,696	57,484	53,378	53,378	796,564

← ②

* 予防給付委託費1件あたり 4,106円

〈介護給付〉

項目 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	小計
件数(件)	60	55	58	58	62	68	68	66	65	63	64	66	753
給付収入(円)	759,540	696,245	734,222	734,222	784,858	860,812	860,812	835,494	822,835	797,517	810,176	835,494	9,532,227

← ③

* 居宅支援費 I ◎ 介護1・2(¥11,211) ◎ 介護3・4・5(¥14,567) 平均…… **¥12,659**

年間収入 ①+②+③ ¥10,730,291

※ 収入額については、過誤申請等の調整がかかり最終的な額は決算書の数字となる。

6. 居宅介護支援事業所りんどう羽鳥

〈認定調査〉

項目 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	小計
調査件数(件)	5	9	8	7	6	3	4	7	2	0	1	1	53
調査料収入(円)	27,500	49,500	44,000	38,500	33,000	16,500	22,000	38,500	11,000	0	5,500	5,500	291,500

← ①

* 認定調査委託費1件あたり 5,500円

〈予防給付〉

項目 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	小計
件数(件)	7	8	12	12	12	12	8	8	8	8	7	3	105
給付収入(円)	28,742	38,474	60,524	54,898	54,898	49,272	31,848	32,848	32,848	32,848	28,742	12,318	458,260

← ②

* 予防給付委託費1件あたり 4,106円

〈介護給付〉

項目 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	小計
件数(件)	66	66	60	65	67	57	43	39	38	40	39	35	615
給付収入(円)	847,670	840,728	748,576	815,741	854,253	712,629	542,481	490,925	476,358	505,492	497,407	442,495	7,774,755

← ③

* 居宅支援費 I ◎ 介護1・2(¥11,211) ◎ 介護3・4・5(¥14,567) 平均…… **¥12,659**

年間収入 ①+②+③ ¥8,524,515

※ 収入額については、過誤申請等の調整がかかり最終的な額は決算書の数字となる。

7. ワークセンターりんどう

(就労継続支援 A 型)

□ 利用状況（令和5年3月31日末現在）

No.	氏名	年齢	性別	手帳	職業判定	障害年金	始業・終業時刻	所定労働時間/週
1	A	50	女	知的 B	重度	重度	9:00~16:45	33.75
2	B	38	女	知的 A	重度	重度	同上	33.75
3	C	35	男	知的 B	重度	重度	同上	33.75
4	D	34	女	知的 B	重度	重度	9:00~13:00	20
5	E	45	女	知的 B	重度	重度	9:00~16:45	33.75
6	F	29	男	知的 B	なし	なし	同上	33.75
7	G	21	男	知的 B	なし	なし	9:00~13:00	20
8	H	25	男	知的 B	なし	なし	9:00~13:00	20
9	I	49	女	精神 2 級	なし	なし	9:00~16:45	33.75
10	J	18	男	知的 B	なし	重度	9:00~13:00	20
11	K	45	男	身体 4 級	なし	なし	9:00~13:00	20
12	L	48	男	医療受給者	重度	なし	9:00~16:45	33.75
13	M	20	男	知的 B	重度	なし	9:30~18:30	40

□ 利用者推移（詳細は別紙②参照）

		令和3年度（年計）		令和4年度（年計）	
		実人数	延人数	実人数	延人数
知的(重度)	男	24	509	12	254
	女	48	988	48	1011
知的(軽度)	男	49	1009	60	1238
身体	男	10	199	12	251
精神	男	8	157	12	247
	女	12	251	12	250
合計		151	3113	156	3251

□ 収入の部（詳細は別紙②参照）

区分	令和3年度 (年計)	令和4年度 (年計)	比較		対前年
			増	△減	
事業収入	16,200,000 円	16,200,000 円	—	—	100%
給付費収入	28,469,946 円	30,461,812 円	1,991,866 円	—	106%
助成金収入	4,514,927 円	4,545,660 円	30,733 円	—	100%
合計	49,184,873 円	51,207,472 円	2,022,599 円	—	104%

□ 支出の部・・・利用者工賃(賃金)に限る(詳細は別紙②参照)

区分	令和3年度 (年計)	令和4年度 (年計)	比較		対前年
			増	△減	
賃金総額	16,223,245 円	18,096,822 円	1,873,577 円	—	111%
合計	16,223,245 円	18,096,822 円	1,873,577 円	—	111%

—事業計画に基づく具体的施策への取り組み(結果)—

□ 個々のニーズに合わせた個別支援の実施(利用者主体の自己実現を支援する)

項目	計画	令和4年度実績
アセスメント	<ul style="list-style-type: none"> 『家族サポートブック』作成 就業生活を支える『家族意識啓発』。 父母の会協働作成(B型含む)。 	<ul style="list-style-type: none"> 家族支援の実行率 40% ※課題 父母の会行事の継続実施。
モニタリング	<ul style="list-style-type: none"> 日々の目標管理を実施(継続)。 手法(方法)の定期的な見直し・修正。 	<ul style="list-style-type: none"> 目標管理の実効率 70% ※課題 モニタリングの実効性 50% ※課題
父母の会	<ul style="list-style-type: none"> 家族主体の定期運営を目指す(継続)。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画的な父母の会の実施。 家族の主体性、徐々に向上

□ 福祉・雇用・教育とのネットワーク構築と活用(維持・継続)

項目	計画	令和4年度実績
計画相談との連携	<ul style="list-style-type: none"> 計画相談中心ネットワーク体制構築 家族へ周知啓発(父母の会・面談等)。 計画未実施〇名の計画相談契約。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画相談の実効率 45% ※課題 周知・連携の実効率 45% ※課題
営業活動	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関マップ作成(情報・計画等)。 □コミ営業実施(近親者強化)。 新規開拓事業強化(B型)。 	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関(連携)の実効率 45% ※課題 利用者受入数の目標値達成。
定着支援	<ul style="list-style-type: none"> 情報共有(父母の会・家庭訪問)。 本人・企業・家族の連携強化。 	<ul style="list-style-type: none"> 職場定着支援の実行率 30% ※課題 家族(連携)の実効率 30% ※課題

□ 各サービス提供プロセスの改善

項目	計画	令和4年度実績
マニュアル	<ul style="list-style-type: none"> マニュアルの見直し・修正(継続)。 B型開所に伴い新規マニュアル作成。 	<ul style="list-style-type: none"> 新規マニュアルの作成。 マニュアル改の実効率 30% ※課題
プロセスPDCA	<ul style="list-style-type: none"> プロセスPDCA(定例会/月)(継続)。 	<ul style="list-style-type: none"> 定例会の実行率 65% ※課題 事業計画の推進達成(目標値 70%)。

□ 各サービス内容の質の向上（PDCA）

項目	計画	令和4年度実績
一般就職移行	・プロセス PDCA(定例会/月)(継続)。	・就職者1名(当年度離職)。 ・求職活動(職場実習)0名。
期間目標	・計画作成(目標・期間)(継続)。	・計画性の実効率 55% ※課題 ・計画(調整)力達成(目標値 70%)。

□ サービス提供職員の資質向上

項目	計画	令和4年度実績
専門性向上	・資格取得等、高度な専門性の獲得。	・資格取得の実効率 40% ※課題 ・専門力習得達成(目標値 70%)。
コミュニケーション	・情報交換会の実施(継続)。	・職員間の連携達成(目標値 75%)。 ・他事業所(連携)の実効率 40% ※課題

□ 就労継続支援 A 型・B 型多機能型事業所の確立（第一段階）

項目	計画	令和4年度実績
利用者受入	・A 型利用定員 10 名受入。 ・B 型利用定員 10 名受入。	・A 型利用者 13 名受入(R5.3 末日)。 ・B 型利用者 14 名受入(R5.3 末日)。
作業の確立	・B 型作業内容の構築(内容)。 ・B 型作業内容の構築(カリキュラム)。	・B 型作業内容構築(目標値 70%)。 ・B 型カリキュラム構築(目標値 65%)。
工賃向上	・B 型工賃規定の改定(所得補償)。	・工賃改定の準備(目標値 100%)。 ・工賃規定改定の実効率 90% ※課題
職員体制の構築	・新任職員の育成(標準的業務の習得)。 ・職員間のコミュニケーション。	・新任職員の育成(目標値 75%)。 ・コミュニケーション(目標値 75%)。

□ 令和5年度に向けた事業目標（事業計画）

項目	計画	令和5年度の達成目標
利用者受入 (拡大)	・A 型利用定員 14 名受入。 ・B 型利用定員 14 名受入。	・A 型・B 型利用定員受入(左記参照)。
魅力作り (カリキュラム・工賃)	・「トレーニングセンターB」事業構築。 ・特養への労働力提供(工賃・質向上)。	・A 型や企業への就労移行(1 名)。 ・工賃維持・質向上(平均 20,000 円)。
職員の質の向上 (コミュニケーション)	・求められる職務遂行(キャリアパス)。 ・笑顔溢れる職員間の雰囲気づくり。	・職員の役割分掌(連携)。 ・活気ある職場の雰囲気づくり(風土)。

◇利用者の状況

	※人数()内はうち短時間労働者数を記載												合計													
	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	
	利用者総数	実人数	利用者総数	実人数	利用者総数	実人数	利用者総数	実人数	利用者総数	実人数	利用者総数	実人数	利用者総数	実人数	利用者総数	実人数	利用者総数	実人数	利用者総数	実人数	利用者総数	実人数	利用者総数	実人数	利用者総数	実人数
知的(重度)	1	22	1	23	1	21	1	18	1	21	1	22	1	23	1	19	1	19	1	21	1	19	1	23	12	254
女	4	84	4	86	4	85	4	75	4	89	4	84	4	88	4	84	4	85	4	84	4	80	4	87	48	1011
小計	5	106	5	109	5	106	5	93	5	110	5	106	5	111	5	106	5	104	5	105	5	99	5	110	60	1265
知的(軽度)	5(3)	105	5(3)	93	5(3)	103	5(3)	90	5(3)	108	5(3)	107	5(3)	109	5(3)	109	5(3)	102	5(3)	106	5(3)	97	5(3)	109	60	1238
女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	5	105	5	93	5	103	5	90	5	108	5	107	5	109	5	109	5	102	5	106	5	97	5	109	60	1238
精神	1	21	1	23	1	20	1	19	1	15	1	22	1	21	1	21	1	21	1	21	1	20	1	22	12	247
女	1	21	1	21	1	21	1	18	1	23	1	22	1	21	1	20	1	19	1	21	1	20	1	23	12	250
小計	2	42	2	44	2	41	2	37	2	38	2	44	2	42	2	42	2	40	2	42	2	40	2	45	24	497
身体	1	21	1	21	1	22	1	18	1	20	1	22	1	21	1	21	1	21	1	21	1	19	1	23	12	251
女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	1	21	1	21	1	22	1	18	1	20	1	22	1	21	1	21	1	21	1	21	1	19	1	23	12	251
合計	13	274	13	267	13	272	13	238	13	276	13	279	13	283	13	279	13	267	13	274	13	255	13	287	156	3251
1日平均利用者数	9.13		8.61		9.07		7.68		8.90		9.30		9.13		9.30		8.61		8.84		9.11		9.26			
事業収入	1,350,000		1,350,000		1,350,000		1,350,000		1,350,000		1,350,000		1,350,000		1,350,000		1,350,000		1,350,000		1,350,000		1,350,000		16,200,000	
給付費収入	2,516,124		2,455,203		2,310,164		2,718,295		2,663,213		2,588,569		2,639,913		2,602,890		2,533,661		2,555,973		2,379,825		2,497,982		30,461,812	
助成金収入													4,495,500										50,160		4,545,660	
収入(合計)	3,866,124		3,805,203		3,660,164		4,068,295		4,013,213		3,938,569		8,485,413		3,952,890		3,883,661		3,905,973		3,729,825		3,898,142		51,207,472	
平均工賃(賃金)実績	108,563		99,895		132,746		110,122		113,052		112,556		113,407		115,203		142,674		121,968		115,943		105,934		116,005	
工賃(賃金)総額	1,411,315		1,298,639		1,725,693		1,431,592		1,469,676		1,463,229		1,474,292		1,497,636		1,854,768		1,585,586		1,507,260		1,377,136		18,096,822	
支出(合計)	1,411,315		1,298,639		1,725,693		1,431,592		1,469,676		1,463,229		1,474,292		1,497,636		1,854,768		1,585,586		1,507,260		1,377,136		18,096,822	

※寸志(6月(10名):341,765円/12月(11名):393,220円)含む。

◇退所の状況

令和4年4月～令和4年9月	0人	就職先:	合計
令和4年10月～令和5年3月	0人	就職先:	0名

◇就職の状況

令和4年4月～令和4年9月	0人	就職先:	合計
令和4年10月～令和5年3月	0人	就職先:	0名

◇見学受入の状況※A型・B型

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件/名	8件 14名	9件 21名	8件 13名	1件 1名	6件 16名	6件 12名	8件 13名	5件 6名	2件 5名	2件 5名	3件 5名	7件 10名	合計 65件 121名

◇実習受入の状況

区分	学校関係	相談支援事業所	就労支援事業所	合計
令和4年4月～令和4年9月	実人数:0人/延人数:0人	実人数:1人/延人数:5人	実人数:1人/延人数:16人	実人数:2人/延人数:21人
令和4年10月～令和5年3月	実人数:2人/延人数:6人	実人数:0人/延人数:0人	実人数:1人/延人数:5人	実人数:3人/延人数:11人

※ 収入額については、過眠申請等の調整がかなり最終的な額は決算書の数字となる。

(就労継続支援 B 型)

□ 利用状況（令和4年3月31日末現在）

No.	氏名	年齢	性別	手帳	職業判定	障害年金	始業・終業時刻	所定労働コマ/週
1	A	33	男	知的 A	重度	2 級	9:30~16:00	25
2	B	31	男	知的 A	—	2 級	同上	25
3	C	60	男	精神 1 級	—	1 級	同上	10
4	E	40	女	知的 B	—	—	同上	25
5	F	25	男	知的 B	—	2 級	同上	25
6	G	25	男	精神 2 級	—	—	同上	25
7	H	20	男	身体 1 級	—	—	同上	25
8	I	21	男	知的 B	重度	2 級	同上	25
9	J	20	男	知的	—	—	同上	25
10	K	19	男	知的 B	重度	—	同上	25
11	L	18	男	知的 B	—	—	同上	25
12	M	58	男	知的 B	—	—	同上	25
13	N	46	女	精神 3 級	—	—	同上	25
14	O	26	男	知的 A	—	—	同上	25

□ 利用者推移（詳細は別紙②参照）

		令和3年度（年計）		令和4年度（年計）	
		実人数	実人数	実人数	延人数
知的(重度)	男	52	1033	39	784
	女	0	0	12	214
知的(軽度)	男	24	492	59	1147
	女	19	229	0	0
精神	男	24	254	24	290
	女	0	0	10	167
身体	男	12	121	12	54
	女	0	0	0	0
合計		139	2129	156	2656

□ 収入の部（詳細は別紙②参照）

区分	令和3年度 (年計)	令和4年度 (年計)	比較		対前年
			増	△減	
事業収入	—	—	—	—	—
給付費収入	19,062,553 円	24,349,323 円	5,286,770 円	—	127%
助成金収入	0 円	0 円	0 円	0 円	—
合計	19,062,553 円	24,349,323 円	5,286,770 円	—	127%

□ 支出の部・・・利用者工賃(賃金)に限る(詳細は別紙②参照)

区分	令和3年度 (年計)	令和4年度 (年計)	比較		対前年
			増	△減	
工賃総額	3,422,506円	4,466,036円	1,043,530円	—	130%
合計	3,422,506円	4,466,036円	1,043,530円	—	130%

—事業計画に基づく具体的施策への取り組み(結果)—

□ 個々のニーズに合わせた個別支援の実施(利用者主体の自己実現を支援する)

項目	計画	令和4年度実績
アセスメント	<ul style="list-style-type: none"> 『家族サポートブック』作成 就業生活を支える『家族意識啓発』。 父母の会協働作成(B型含む)。 	<ul style="list-style-type: none"> 家族支援の実行率 30% ※課題 父母の会行事の継続実施。
モニタリング	<ul style="list-style-type: none"> 日々の目標管理を実施(継続)。 手法(方法)の定期的な見直し・修正。 	<ul style="list-style-type: none"> 目標管理の実効率 50% ※課題 モニタリングの実効性 50% ※課題
父母の会	<ul style="list-style-type: none"> 家族主体の定期運営を目指す(継続)。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画的な父母の会の実施。 家族の主体性、徐々に向上

□ 福祉・雇用・教育とのネットワーク構築と活用(維持・継続)

項目	計画	令和4年度実績
計画相談との連携	<ul style="list-style-type: none"> 計画相談中心ネットワーク体制構築 家族へ周知啓発(父母の会・面談等)。 利用者全員の計画相談契約。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画相談の実効率 50% ※課題 周知・連携の実効率 50% ※課題
営業活動	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関マップ作成(情報・計画等)。 ココミ営業実施(近親者強化)。 新規開拓事業強化(B型)。 	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関(連携)の実効率 50% ※課題 利用者受入数の目標値達成。
定着支援	<ul style="list-style-type: none"> 情報共有(父母の会・家庭訪問)。 本人・企業・家族の連携強化。 	<ul style="list-style-type: none"> 職場定着支援の実行率 20% 家族(連携)の実効率 20%

□ 各サービス提供プロセスの改善

項目	計画	令和4年度実績
マニュアル	<ul style="list-style-type: none"> マニュアルの見直し・修正(継続)。 B型開所に伴い新規マニュアル作成。 	<ul style="list-style-type: none"> 新規マニュアルの作成。 マニュアル改の実効率 30% ※課題
プロセスPDCA	<ul style="list-style-type: none"> プロセスPDCA(定例会/月)(継続)。 	<ul style="list-style-type: none"> 定例会の実行率 60% 事業計画の推進達成(目標値 70%)。

□ 各サービス内容の質の向上（PDCA）

項目	計画	令和4年度実績
一般就職移行	・プロセスPDCA(定例会/月)(継続)。	・就職者0名。 ・求職活動(職場実習)0名(0日間)。
期間目標	・計画作成(目標・期間)(継続)。	・計画性の実効率50% ※課題 ・計画(調整)力達成(目標値50%)。

□ サービス提供職員の資質向上

項目	計画	令和4年度実績
専門性向上	・資格取得等、高度な専門性の獲得。	・資格取得の実効率50% ・専門力習得達成(目標値60%)。
コミュニケーション	・情報交換会の実施(継続)。	・職員間の連携達成(目標値60%)。 ・他事業所(連携)の実効率40% ※課題

□ 就労継続支援A型・B型多機能型事業所の確立（第一段階）

項目	計画	令和4年度実績
利用者受入	・A型利用定員10名受入。 ・B型利用定員10名受入。	・A型利用者13名受入(R5.3末日)。 ・B型利用者14名受入(R5.3末日)。
作業の確立	・B型作業内容の構築(内容) ・B型作業内容の構築(カリキュラム)。	・B型作業内容構築(目標値70%)。 ・B型カリキュラム構築(目標値65%)。
工賃向上	・B型工賃規定の改定(所得補償)。	・工賃改定の準備(目標値100%)。 ・工賃規定改定の実効率90% ※課題
職員体制の構築	・新任職員の育成(標準的業務の習得)。 ・職員間のコミュニケーション。	・新任職員の育成(目標値75%)。 ・コミュニケーション(目標値75%)。

□ 令和5年度に向けた事業目標（事業計画）

項目	計画	令和5年度の達成目標
利用者受入 (拡大)	・A型利用定員14名受入。 ・B型利用定員14名受入。	・A型・B型利用定員受入(左記参照)。
魅力作り (カリキュラム・工賃)	・「トレーニングセンターB」事業構築。 ・特養への労働力提供(工賃・質向上)。	・A型や企業への就労移行(1名)。 ・工賃維持・質向上(平均20,000円)。
職員の質の向上 (コミュニケーション)	・求められる職務遂行(キャリアパス)。 ・笑顔溢れる職員間の雰囲気づくり。	・職員の役割分掌(連携)。 ・活気ある職場の雰囲気づくり(風土)。

8. 会議・委員会活動

項 目	開 催
・入所検討会	随時
・医務会議	毎月第一火曜日
・安全衛生身体拘束廃止委員会	毎月第二木曜日
・排泄委員会	毎月第三木曜日
・給食会議	年 2 回
・記録研究委員会	毎月第四火曜日
・グループ会議（各棟ごと）	毎月一回
・主任会議	必要時
・キャリアパス運営委員会	随時
・研修管理室定例会議	毎月 1 回
・BCP 計画会議	毎月第三水曜日

9. 職員研修：研修管理室

(基本理念)

研修管理室は、求められるケア等、社会的ニーズに応える知識・技術を養い、限りない成長を遂げ、選ばれる「りんどう」を創る事を目的として、『組織(法人の価値)』及び『個人(階層毎の職責、求められる能力、役割、職務内容等)』に必要な手段(研修等)を企画、立案、調整、運営、評価、還元(行動)するチームとして、効率的・効果的な研修管理システムの運用へ向けて委員全員で委員会を運営します。

(目標)

『人材確保&人材育成(人格形成)』を目的としたプロジェクト等の企画・運営

～ニーズ把握&具体的な達成目標を立て結果を出す(目標達成の為の手段(研修))

人材育成の為の研修管理システムの成長を目指し、『組織(法人の価値)』及び『個人(階層毎の職責、求められる能力、役割、職務内容等)』に必要な手段(研修等)の場を提供。強固なメンバーシップ意識を持ち、立てた目標の達成へ向けて行動を起こします。

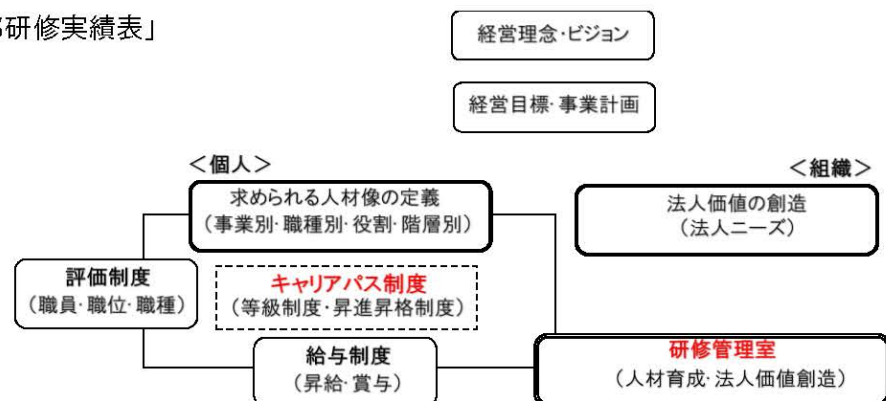
※基盤(H26)→運用・課題分析(H27)→体系化(H28)→効果的・計画的な運営(H29)→キャリアパス制度との連動(H30)→法人ニーズに基づく研修企画・目標達成(H31・R2・R3・R4)

(施策)

- 人材育成を目的とした研修管理システムの『革新』
- キャリアパス制度と連動した研修管理システムの『構築』
- 『研修管理室による課題分析』と関係部署・機関との連携
- その他

別紙1 「外部研修実績表」

別紙2 「内部研修実績表」



(施策に関する具体的な取り組み)

○ 人材育成を目的とした研修管理システムの『基盤の確立』

1. 研修管理室の機能向上

- 強固なメンバーシップ意識(当事者意識&問題意識)を持った「決意」と「行動」
- 効果的・計画的に研修を活用できるコーディネーター機能の強化(マネジメント能力向上)
- 第二のオペレーターの育成
 - 研修管理室におけるプロジェクトリーダーを設置。各自の役割の遂行に努める体制を構築。
 - 研修の効果的・計画的なマネジメント機能(体制を動かす力)は、次年度の課題。

2. データベースの活用

- 「研修情報管理データベース」運用・確立(令和2年度)
- 「人事考課管理データベース」との連動(令和3年度)
 - データベース運用は担当者のみの状況、人事考課管理データベースは未構築の状態。

3. 自発的な研修受講への意識啓発 ※self-development(SDS=自己啓発)

- モチベーション格差の是正(スーパービジョン機能発揮)
- 研修管理システムの周知と効果的な運用(研修情報の発信) ※当事者意識の啓発
 - 情報の不透明さ、確固たる平等な研修情報の発信は、次年度も継続は課題。

4. ニーズに応じた研修の企画・調整・実施・目標達成(個人ニーズ・法人ニーズ・社会的ニーズ)

- 「現状分析力(ニーズ把握)」、「企画力(目標設定・方法)」、「実行力」、「目標達成力」の発揮
- タイムリーな研修企画(法人価値を高める優先して企画すべき研修)
 - 内部研修企画を通じた担当者のスキルアップを図る、次年度も継続した質の向上が課題。
 - 法人が成すべき現状の課題分析、職員個々の人材育成(新任育成)の目標を見出す。

5. 介護職の「キャリア形成促進プロセス」の構築 ※スーパービジョン機能発揮(管理・教育・支持)

- 「準備」アプローチ(土台醸成・基礎知識・実践経験の獲得支援)
- 「入口」アプローチ(受講目的・具体的な達成目標の確認)
- 「出口」アプローチ(受講目的・目標達成度の確認、「学び→行動→気づき」の場の提供)
- 「フォローアップ」アプローチ(知識・実践経験の積立支援)
 - 研修が求められる環境の構築には、次年度も継続したスーパービジョン機能発揮は課題。

6. 研修体系の効果的・計画的な運用(PDCA)

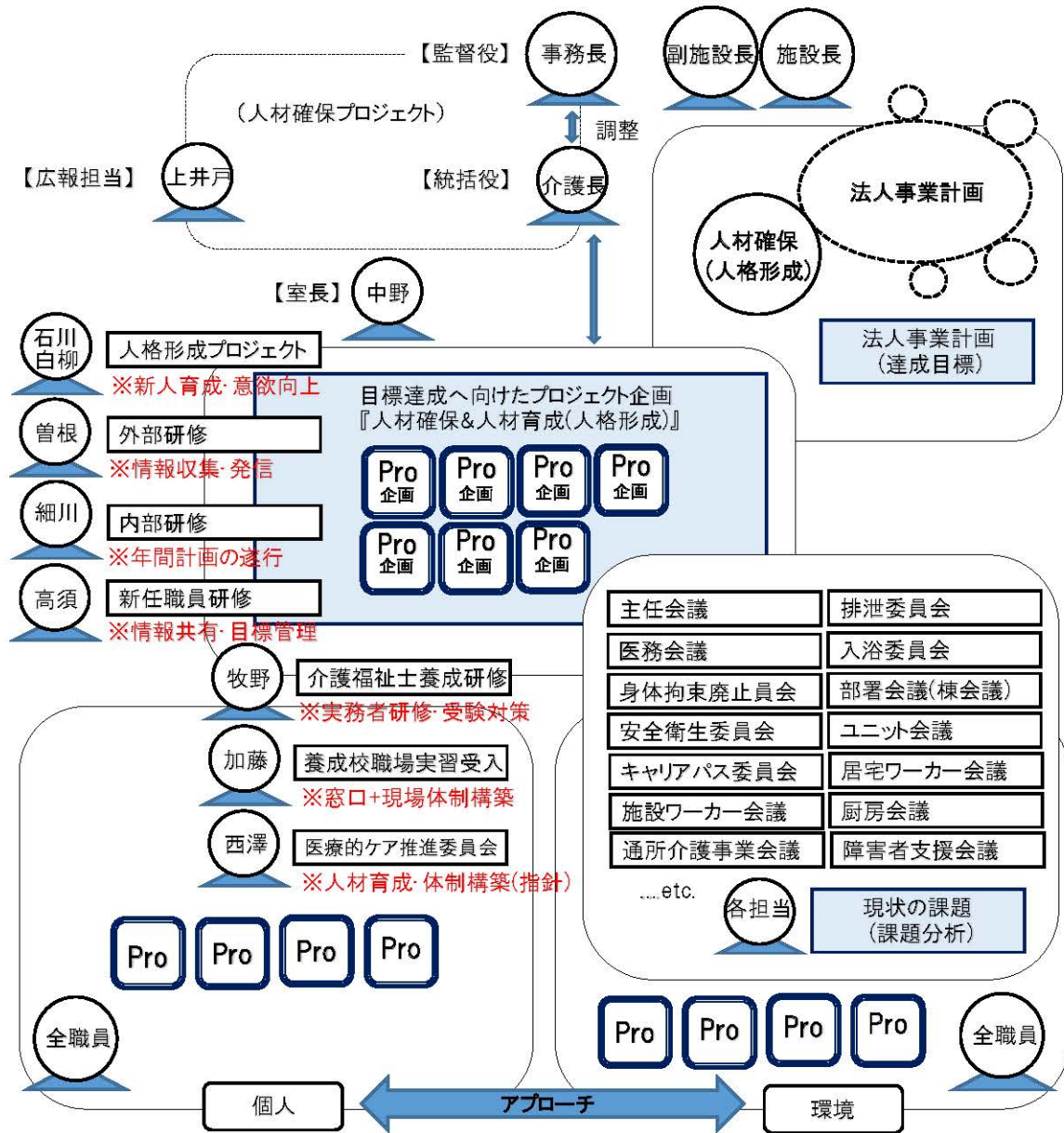
- 研修管理室定例会開催(毎月第一水曜日 17:00-18:00)
- マニュアルの更新(随時更新・定期更新)

○ 『人材確保&人材育成(人格形成)』を目的とした『研修管理室体系』の再構築を図る

1. 法人事業計画に基づく、『人材育成(人格形成)プログラム』の企画・実施

- 介護長を研修管理室の『統括』に置き、事務長が研修管理室を『監督』する。
- 研修管理室委員は『各プロジェクト毎の統括』を担い、プロジェクトを推進する(担当制)。
- プロジェクト推進においては、各部署と連携を図り、全職員周知の下、全職員で推進していく。

2. 令和4年度研修管理室体系(概要)



○ 関係部署・機関との連携

1. 研修管理室と各部署、委員会、プロジェクト活動チームとの協働

- 現状分析(課題分析)・・・『人材確保&人材育成(人格形成)』をテーマに課題を抽出。
- 連携・協働の渦を発動させる(スーパービジョン)・・・関係者をプレイヤーにする(巻き込む)。
 - 各プロジェクトは体制を成す、ゴール(到達目標)が明確でない状況の中、連携は難しい状況。

2. 外部機関との連携と各種制度の活用

- 社会資源の活用(人材開発に資する各種制度・研修等の活用)
- 関係機関との連携(情報収集・選択・活用能力/ネットワーク開発・構築・活用能力)
 - コロナ渦の中、社会不安は高まり、困惑する中での新しい研修体制を模索する状況。

『内部研修』年間報告書（令和4年度）

・事業運営上必須となる研修&令和4年度優先して取り組むべき研修

No.	研修名	研修開催月												研修担当者	備考	研修区分			
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3						
1	身体拘束等の適正化の為の研修 (虐待防止に関する研修含む)												●				西澤	<ul style="list-style-type: none"> 指針に基づく研修企画 定期研修(2回/年)・新任研修(1回)以上 	必須
2																●			
3	感染症及び食中毒の予防蔓延防止の為の研修												●				岩崎	<ul style="list-style-type: none"> 指針に基づく研修企画 定期研修(2回/年)・新任研修(1回)以上 	必須
4		△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△			
5		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
6	事故発生の防止の為の研修												●				細川	<ul style="list-style-type: none"> 指針に基づく研修企画 定期研修(2回/年)・新任研修(1回)以上 	必須
7																●			

・令和4年度法人ニーズ(課題)に関する必要な研修

No.	研修名	研修開催月												研修担当者	備考	研修区分			
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3						
8	介護基本に関する研修	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	石川	<ul style="list-style-type: none"> 介護基本に関する研修 上記、必須研修に関連する研修 	ニーズ研修
9	BCPIに関する研修	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△				

・例年、実施している研修

No.	研修名	研修開催月												研修担当者	備考	研修区分			
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3						
10	緊急時対応研修			●													牧野	<ul style="list-style-type: none"> 心肺蘇生術の習得(AED) 現場で実践できる技術の習得 	必須(例年)
11	新任職員研修	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△				
12	防災研修(防災訓練)												●					<ul style="list-style-type: none"> 防災に関する研修 令和3年度実施すべき必須研修 	必須
13	介護福祉士国家試験対策研修												●						
14	喀痰吸引等研修(第2号研修)	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△		<ul style="list-style-type: none"> 喀痰吸引等資格取得に関する研修 第2号研修受講者対象 	ニーズ研修
15	喀痰吸引等研修(介護福祉士※医療ケア修了者)	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△				

外部研修実績記録表(令和4年度)

NO	研修名	主催者	研修日	受講決定者	区分	費用
1	初任者コース<中部>	静岡県社会福祉協議会	7/14・8/4 8/5	望月航	通常	施設
2	安全運転管理者講習	静岡県公安委員会	8/29	山元國晴	通常	施設
3	介護福祉士ファーストステップ研修	日本介護福祉士会 静岡県介護福祉士会	8/1~2/1 (計15日)	北澤亜紀	キャリアパス	事故
4	施設ケアマネ研修Ⅰ ~施設ケアのマネジメントの一連の流れ~	北海道介護支援専門員協会	11/8	鈴木育生 落合伸次	通常 (web)	施設
5	スーパービジョン実践講座	静岡県社会福祉協議会	12/23	関口智香	通常	施設
6	事例研究発表会・講演会	静岡県給食協会	2/3	本多一美	通常	施設
7	衛生講習会	静岡県給食協会	3/1	狩野尋美	通常	施設

10. 防災

コロナ禍でありましたが、感染防止を図りながら訓練を行いました。

<11月23日実施の防災訓練>

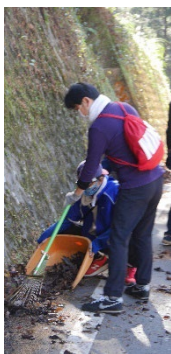


<今後の課題>

防災・救護・救出・救命・応急手当の技術の向上について再訓練・教養の実施し更なる向上を図る。

11. 地域への貢献

- ① 中藁科地区社協と共同にて、移動支援サービス（買い物ツアー）に毎月1回～2回 施設車両2台を 貸し出す。
- ② 例年通り街道清掃
・水見色街道清掃



12. 広報

R4.4月～R5.3 事業報告（広報活動）

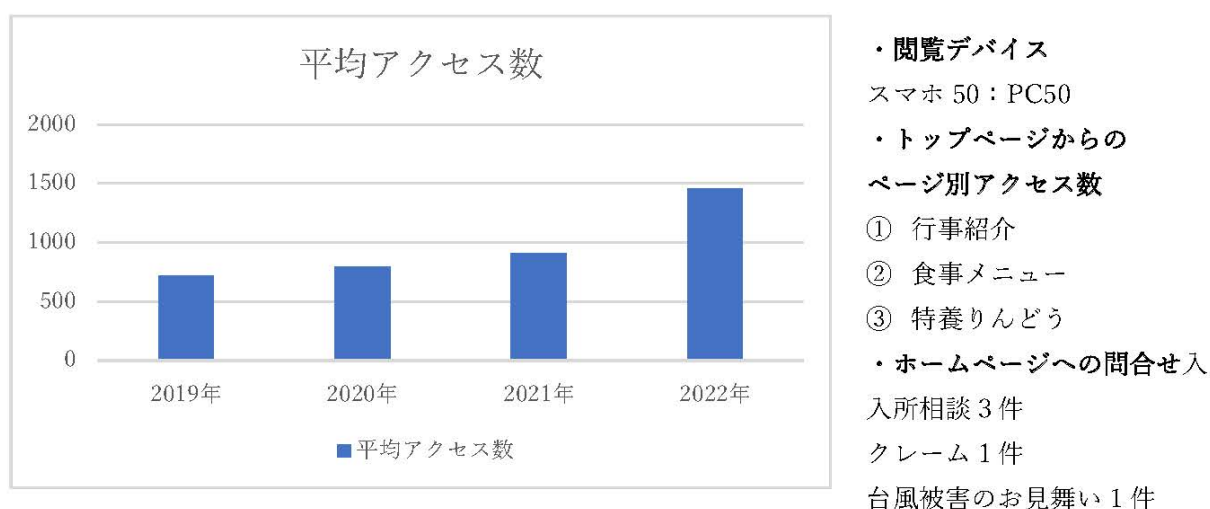
地域に根付き地域に貢献できる法人を目指し、わらしな福祉会りんどうの知名度を上げること、りんどうをでの取り組みや地域を知って頂くこと。を目的に広報活動を継続して行ってきました。また、広報活動を通じて「知って頂く」プラス「魅力を伝える」ことで「りんどうに入りたい」利用者様を増やすこと、「りんどうで働きたい」職員獲得にも重点を置いています。

R4.12月 りんどうオリジナルカレンダー制作と配布

R5.2月 静岡県社会福祉協議会 TVCM 写真提供

毎月定期発行 広報紙オクリんどう（ご家族・居宅介護事業所へ配布）

***わらしな福祉会ホームページ* 2017年3月よりHP運用開始**



わらしな福祉会 SNS、HP

Facebook 2017年4月より開始 instagram 2018年7月より開始

ホームページや SNS で活動をわかりやすく提供すること、新着情報を随時更新するなどコンテンツの充実に努めてきました。

SNS においては、面会ができない環境が続く中、見てくださるご家族様が増えました。

「家族の元気な姿を見ることができ安心していきます」「りんどうで実施されている行事等がよくわかる」という言葉を頂いています。

昨年同様にコロナ発生、台風被害もありその際ご家族や関係者への情報発信で大きく活躍してくれたものが SNS やホームページでした。こちらで情報を発信することでキーパーソンのみならず関係者に情報提供することができました。

2023年版カレンダー



りんどう Instagram



インサイトを見る

投稿を宣伝

こちらの動画は、
100 万人以上の方たちに見て頂
いているインスタの動画です。

SNS や HP では特養・ショート・デイ・ワーク・居宅での取り組み、地域の紹介などを発信しています。
インスタのフォロワー数は皆さまに見て頂いているおかげでかなり増えています。

静岡県社会福祉協議会 TVCM



りんどう Facebook



りんどうでの日常や行事の紹介をしています。

社会福祉法第 45 条の 27 第 2 項に定める附属明細書については、
事業報告の内容を補足する重要な事項が存在しないので、作成し
ない。

